

学区の自主防災訓練として、一斉安否確認訓練を実施しました。

「大丈夫です」の合図として、玄関先にタオルを掲げるように事前周知しました。当日組長は9:00に安否確認した後、一時避難所に集合した町内会役員に、安否情報と被害状況を報告しました。町内会役員は、災害救助地区本部のある春日野小学校に行き、報告をしました。

このように、春日野学区では、発災時に被害状況と避難経路の確認も兼ねた伝令方式の安否確認を行うことになっています。



区役所総務課による講話



▲災害救助地区本部委員の役割について、というテーマで共助の要となる災害救助地区本部の役割や避難所管理組織や在宅避難のことなど、分かりやすく話されました。

防災倉庫



▲小学校の防災倉庫には、避難所開設キットや食料・飲料水・毛布・簡易パック式トイレ・発電機・投光器・間仕切り・地下式給水栓などが備蓄されています。

防災無線とファックス



▲災害対策本部となる春日野小学校特活室には災害時に使用する防災無線やファックスが備えられています。以前には、無線を使った訓練もしたそうです。

参加者の声

- ・初めての参加です。知らないことばかりで、とても勉強になりました。自宅の備蓄や非常持出袋などを見直す良い機会なので、しっかり見直して備えたいと思います。
- ・組や町内で呼びかけて、みんなで考えて行動できるようにしたいです。

主催者の声

- ・町内会長や役員が交代になったので、初めての人が多い。防災訓練も基本からになり、なかなかステップアップした訓練ができないのが悩みです。定期的に防災の人材を養成する訓練が必要だと思います。